

証拠金

先物やオプションの取引を行う時に、担保として預けるお金のことです。日経 225 先物・日経 225min などでは差金決済を採用しているため売買代金全額を取引時に受け渡す必要はありませんが、損失が確定した投資家に支払い能力がないと、利益を得られるはずの投資家がお金を受け取れない事態となり、取引の信頼性が著しく損なわれます。このような事態を防ぐために、先物取引参加者は、一定額の担保を、信頼のできる第三者(=株式会社日本証券クリアリング機構)に売買口座のある証券会社を通じて、預けておきます。

証拠金は「VaR (Value at Risk) 方式」と呼ばれる方法で計算されます。VaR 方式とは、特定のポジションを一定期間保有すると仮定した場合において、将来の価格変動により一定の確率の範囲内で予想される損失をカバーする額(想定損失相当額)を計算する方法です。VaR 証拠金は、限月ごと、売り買いごとに計算し、毎営業日見直しが行われ即日適用されます。日本証券クリアリング機構(JSCC)が算出する VaR 証拠金の数値をもとに、各証券会社が独自に証拠金額を定めるため、証券会社によっても証拠金額は異なります。

VaR 証拠金では、先物の買い方と売り方では1枚当たりの証拠金額は若干異なりますが、売りの証拠金が買いの証拠金の何倍にもなるようなことはありません。

先物を2枚買う時は、1枚買うときの2倍の証拠金がかかりますし、先物を10枚売れば、1枚の場合の10倍の証拠金がかかりますが、先物の買いと売りを組み合わせることで、一部証拠金が相殺されます。たとえば、9月限を2枚買い同時に12月限を1枚売する場合などです。また、先物とオプションを組み合わせた取引を行う際は、リスク量(合計ポジションの想定最大損失額)次第で証拠金が安くなることも、高くなることもあります。